

学校名	山形市立桜田小学校	校長	永沢 徳子
	山形市桜田東一丁目1番30号 TEL: 624-5083 FAX: 633-9794	研究主任	高橋 章
研究主題	<p style="text-align: center;">自ら学び、共に学び合う子どもの育成</p> <p style="text-align: center;">国語科を通して ー</p>		
主題設定の理由	<p>本校の教育目標は、「未来をひらく、英知と力のある子どもの育成」である。また、めざす子ども像として、元気な子ども 協力する子ども くふうする子ども うつくしい心をもつ子どもの4つを設定している。</p> <p>「元気な子ども」とは、命を大切にし、心も体もたくましい子どもである。また、「協力する子ども」とは、相手を思いやる心もち、自分の仕事に責任をもって取り組んだり、みんなと支え合いながら物事をやりとげたりしていく子どもである。さらに、「くふうする子ども」とは、主体的に学習や活動に取り組み、自分をのびのびと表現できる子どもととらえている。また、豊かな心と感性を一層育てていきたいという願いから、今年度は、「うつくしい心をもつ子ども」を加えたところである。</p> <p>本校では、平成12年度より3年間、人や社会・自然と関わり、主体的に課題を追求し、互いに高め合う子どもを育てるための単元開発と指導のあり方についての研究を、生活科及び「総合的な学習の時間」【さくらチャレンジ】を通して行ってきた。人や社会・自然と関わり、主体的に課題を追求し、互いに高め合うことのできる児童を育てることをねらいとし、各学年部の「目指す子どもの姿」、5つの育てたい力（つかむ力・調べる力・伝える力・ふり返る力・関わる力）を明らかにしながら授業実践を積み重ねてきた。</p> <p>その結果、子ども達は課題解決に向けて主体的に考え行動するようになってきている。そして、活動や体験を通して学んだことをもとに友だちと力を合わせ工夫して表現したり、相手意識をもって伝えようとしたりする姿が見受けられるようになってきた。</p> <p>しかし一方では、交流や発表の場面における表現力の不足が顕在化している。自分の思いや考えを相手意識をもって臆さずに言葉で発表する力、終始事実の確認に終わる質問や感想どまりの発言からの脱却など、コミュニケーション能力を高める必要が出てきている。</p> <p>そこで、今年度は仲間同士の中で自分の思いや考えを言葉で伝え、仲間と関わりながらより良いものを広め合うことのできる力を育成していきたいと考え、本主題「自ら学び、共に学び合う子どもの育成」を設定し研究を進めていくことにした。</p> <p>さらに、これまでの成果を生かしながら、交流や発表の場面での上手な「話し手」「聞き手」「書き手」の育成、単発的な「話し合い」活動から内容まで吟味する「聞き合い」活動へと高めていきたいと考えている。</p> <p>加えて、平成15年1月に文化審議会国語分科会から報告された「これからの時代に求められる国語力について（審議経過の概要）」において、これからの時代に求められる国語力の中核として【考える力】【感じる力】【想像する力】【表す力】の四つがあげられている。分科会では、これら四つの力のうち、特に「考える力」と「表す力」の重要性があげられている。自分なりの「考え」や「思い」などを具体的な「発言」や「文章」として、相手や場面に配慮しつつ伝えていくために、「考える力」と「表す力」は、切っても切れないまさに車の両輪のようなものであり、本校研究を進めていく時のキーワードであると考えている。</p> <p>昨年度までは、生活科と「総合的な学習の時間」を研究の窓口に進めてきたが、言語による表現力、コミュニケーション能力の育成を中心に研究を進めていくために、今年度は研究教科を国語科に焦点化し、本校の研究を進めていくことにする。</p>		

目 標	・「自ら学び、共に学び合う子どもの育成」をめざす国語科の学習指導のあり方を探る。						
研 究 の 内 容 と 方 法	<p>1 年次計画（3年計画） 第1年次（今年度）基礎期</p> <table border="1" data-bbox="331 342 1350 539"> <tr> <td>研究主題の設定と理論研究 研究計画及び研究全体構想図の作成 先進校視察 指導案形式の立案</td> <td>研究内容・方法の方向性の決定 授業研究会 講師招聘による学習会 研究紀要の作成</td> </tr> </table> <p>第2年次（16年度）発展期</p> <table border="1" data-bbox="655 577 1305 734"> <tr> <td>研究主題・研究内容の見直し 授業研究会 指導案形式の改善</td> <td>先進校視察 研究紀要の作成</td> </tr> </table> <p>第3年次（17年度）確立期</p> <table border="1" data-bbox="655 768 1305 887"> <tr> <td>授業研究会 指導案形式の完成</td> <td>先進校視察 研究紀要の作成</td> </tr> </table> <p>2 研究の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 聞くこと・話すことに重点をおいた課題解決型学習の授業実践。 2) 仲間と関わりながらより良いものを広め合うことのできる学習形態の工夫。 3) 研究全体構想図（育てたい力・めざす子ども像を含む）を作成する。 4) 発表の場、交流の場を通じた児童の発表実践力の育成を図る。（学校行事・なかよしチャレンジ・朝会時の学年発表など） <p>3 研究の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 担外を含む全員が提案授業を公開し、授業作りについて学び合いながら、研究を深める。（大研：3回、小研：18回） 2) 研究全体会、推進委員会、学年部会を定期的で開催し、お互いの情報の交流を図る。 3) 研究だより「あふれる ひかり」を発行し、お互いの実践や先進校の取り組み、公開研究会情報などを参考にしながら研究を進める。 4) 授業研究会や校内研学習会には講師を招聘し、理論研究も並行して行う。 5) VTRや写真などを活用して、児童の育ちや変容を継続的に記録し、授業研究や研究紀要のまとめに生かし、次年度へつなげる。 	研究主題の設定と理論研究 研究計画及び研究全体構想図の作成 先進校視察 指導案形式の立案	研究内容・方法の方向性の決定 授業研究会 講師招聘による学習会 研究紀要の作成	研究主題・研究内容の見直し 授業研究会 指導案形式の改善	先進校視察 研究紀要の作成	授業研究会 指導案形式の完成	先進校視察 研究紀要の作成
研究主題の設定と理論研究 研究計画及び研究全体構想図の作成 先進校視察 指導案形式の立案	研究内容・方法の方向性の決定 授業研究会 講師招聘による学習会 研究紀要の作成						
研究主題・研究内容の見直し 授業研究会 指導案形式の改善	先進校視察 研究紀要の作成						
授業研究会 指導案形式の完成	先進校視察 研究紀要の作成						
研 究 計 画	<p>【4月】研究体制を整え、計画を立てる時期 （4月）アンケート調査</p> <p>【5月～7月】成果を踏まえ、課題をしぼる時期 （5月）研究主題の決定 （6月）研究概要の決定・授業研究会の計画 （7月）第1回校内研学習会</p> <p>【8月～12月】授業を通して研究の充実を図る時期 （10月）第1回授業研究会 （11月）第2回授業研究会・全体構想図のモデルの提案 （12月）第3回授業研究会・第2回校内研学習会</p> <p>【1月～3月】研究のまとめをし、来年度を展望する時期 （1月）各学年の実践のまとめ （2月）研究の成果と課題検討 （3月）研究紀要の発行</p>						